

令和 4 年度

学校関係者評価報告書

令和 5 年 3 月

学校法人すみれ学園

四国医療技術専門学校

1.学校関係者評価委員

学校評価委員

泉 秀明 委員長 (土橋協立病院)
久枝 正実 委員 (愛媛県立中央病院 臨床工学部 担当係長)
白方 三喜 委員 (松山聖陵高等学校 教頭)
谷崎 繭友美 委員 (株式会社ソラスト 本校卒業生)
砂川 恵子 委員 (本校在校生保護者)

学校

河邊 徹朗 (校長)
成高 有哉 (臨床工学学科 学科長)
掛川 さゆり (医療情報学科 学科長)
梶原 卓哉 (事務広報部 部長)

事務局

岡部 達紀(事務広報部 課長)

2.学校関係者評価の実施方法、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染防止の為、自己点検評価及び詳細を送付し、回答書を通じて意見を頂きました。

頂いた意見については、報告書に取りまとめホームページに公表し、今後の教育活動や学校運営の改善に活かします。

令和4年度 学校評価委員会 自己評価報告

(1) 泉氏より

コロナ禍による様々な制限や変更が3年間続く中、生徒は従前と異なる学校生活や実習への努力を、先生方は教育計画や学生生活支援についてご苦労されたことを自己評価報告書から窺い知ることができました。

(2) 久枝氏より

5-10項目は、全卒業生という対象でしょうか？全卒業生を把握するのは困難と思われるので、基準を変えられるようなら、変更してみてもよいのではないのでしょうか。

(3) 白方氏より

学校に「マネジメント」という言葉が使われはじめて十数年になります。ますます「新しい」経営の視点が必要になってきます。激変する外部環境、厳しい状況の中、効果的な「マネジメント」を追求する必要があるように思います。

(4) 谷崎氏より

適切な運営がなされていると思います。履修について資格の取得と合わせて社会人（病院の一員）としての役割についても学ぶ機会も増やし人間性も評価される人材育成を今後もしていただける学校であることを魅力にしていきたいです。

(質問事項)

SNSやラジオなど多方面での工夫をお見受けしています。専門的な知識（医学系であること）の魅力もより発信していきたいと思います。病院求人の中には「未経験OK」の募集も多く見られていますが、その部分との差別化や中途での入学者募集への工夫はありますか？

(回答)

未経験OK 求人への対応の差別化

資格を取得していることで、医療事務に関係する業務を始めるにあたって無資格の者よりも円滑に業務をこなすことができ、また、実務実習を通じて現場での対応力を身につけることで未経験の方と比べ現場のスタッフと連携した業務を進めることができる。

中途の入学生募集についての工夫

学校・学科紹介だけでなく、過去の実績をもとに資格取得や就職状況、クラスでの過ごし方など、興味を持っている方に対して必要な情報を個別対応で伝えるようにしている。

(5) 砂川氏より

多様な学習支援

3年からは、臨床工学技士国家試験資格取得にむけての指導が始まる。放課後補習や個別授業により、学生は自信と安心感を得ることができる。結果、学習意欲も高まり、今年も国家資格取得100%となっている。

臨床実習の充実

コロナ禍での臨床実習は、学生にとって貴重な体験となった。実際の現場で学ぶことは多く、医療従事者に必要な知識の理解が深まり、問題解決能力を高める良い機会を得ることができた。

就職支援

愛媛県内外からの求人募集があり、ほとんどの学生が早い段階から就職内定をもらえている。そのため、必要な指導や助言を1人ずつ手厚くサポートしている。